

## 【これまでの経過】

○H29年度は、2事例を相談支援部会にて地域課題事例として取り扱い、課題解決に向けたワーキングの発足へつながっている。

※地域課題事例として提案を行った事例:「中之島地域の医療機関への送迎」、「行動障害等がある児童のサービス利用」

→「行動障害等がある児童のサービス利用」については、H30年度ワーキングにて検討開始

→「中之島地域の医療機関への送迎」については、ワーキングにて確認のうえ、個別支援における調整・工夫を改めて部会で検討

○H29年度の相談支援部会における振り返り・評価をもとに、改めて検討プロセスを再設定。また、地域課題の抽出だけを部会の役割・位置づけとせず、情報機能や教育機能についても部会の役割として実施していくこととなった。

## 【今年度の方針】

相談支援からの課題抽出・解決に向けた取組方法の提案と合わせ、相談支援部会における教育機能を強化を図る

## 【具体的活動(取り組み)内容】

- 新たな検討プロセスによる地域課題の抽出及び解決に向けた取組方法(アクションプラン)の提案  
⇒課題集積、地域課題の分析(地域診断、社会資源の確認・評価)を検討プロセスに改めて導入
- 相談支援従事者として「協議会を活用し、社会資源の開発・改善」の役割を担うための研修会等の実施  
⇒相談支援部会における教育機能の強化

# H30年度相談支援部会における地域課題の検討プロセス《協議会の活用》

日常的に行う日々の支援

個別支援

個別支援会議

- アセスメント
- ↓
- プランニング
- ↓
- 支援(サービス)提供
- ↓
- モニタリング
- ↓
- 支援の調整・工夫

『満たされないニーズ』  
地域生活の中で必要であるが  
現状では提供できない支援

《地域課題の可能性のあるもの》

協議会への  
情報発信

協議会

相談支援部会

課題分析

- 地域診断
  - 社会資源の現状確認・評価
- ↓
- 地域課題の裏付けを取る

アクションプランの決定

地域課題の裏付けをもとに  
解決に向けた必要なアプローチ方法

「個別課題」  
個別支援においてできる  
可能性があること(アイデア)

「地域課題」  
地域課題の可能性が  
あるものとして残るもの

地域課題事例の検討

- 事例から実際に生じた課題を掴む
- 個別課題におけるアイデア出し
- 地域の社会資源とのマッチング

課題集積(情報共有)

地域はどのような現状か？  
どのような課題が多く生じているか？ 等

運営会議

- 地域状況・事例・課題の  
報告と共有
- 企画提案
- 検討・調整

ワーキング

ワーキングメンバーと共に  
地域課題の解決に  
向けた取り組みへ